

四谷の千枚田だより



第251号

第十三回

中部環境先進五市
サミットin多治見

令和六年七月十二日(金)

多治見バロー文化ホール

テーマ「循環型社会に向けてのまちづくり市民とつくる豊かな暮らしを目指して」が開催。市民団体

交流会に鞍掛山麓千枚田保存会・内閣府地域活性化伝道師・新城市環境審議会委員として小山舜二が参加。中部環境先進五市(TASKI)サミットは、環境首都コンテスト全国ネットワーク(現・環境首都創造ネットワーク)主催の「日本の環境首都コンテスト」(現在は終了)に参画していた多治見市、安城市、新城市、掛川市、飯田市の五市が連携し、平成二十二年から年一回開催。五市の市長が集い、各市の取組みの紹介会(意見交換会)を行つて意見交換会(意見交換会)を行つている

基調講演

「脱炭素社会・循環型社会への移行について」中部地方環境事務所の伊藤龍一氏から、環境省の最大の課題が自然災害よりも犠牲者の多い「熱中症」対策(参考:死者数令和四年熱中症千四百七十七人自然災害二十六人)であることが語られ大きな興味を抱いた。

各市首長の取組み紹介
△新城市下江市長 循環型社会の

まちづくり多様な主体で取り組む里山の保全・地域と企業・自治体との連携をテーマに、市の八十四町村が森林に覆われ、その森林には愛知県の鳥「このはづく(仏法僧)」や貴重な鳥類などが生息しており、これらの生息に配慮した森づくりを目指す。また、鳥獣害対策としてニホンジカによる幼木の食害、また林木の枝虫被害の軽減などを模索。日本全国の棚田百選・つなぐ棚田遺産にも選ばれている四谷の千枚田を継承していくため、地域と企業・自治体が連携して取り組んでいる。地域が地元の小学校に対して行う環境学習プログラムを通じて里山における生態系を学ぶ取り組みを実施。また、地元企業の社員と地域の方と共に千枚田において外来植物の伐根・駆除作業を実施している。鳳来寺山自然科学博物館を拠点とした生物多様性活動の推進等々を紹介した。

恒例として、次回開催市新城市下江市長が多治見市高木市長から「TASKIのタスキ」を引き継いだ。△安城市三星市長 プラスチックごみの回収をし、リサイクルできる仕組みをつくつていて。

◇多治見市高木市長 市有施設の照明の発光ダイオード(LED)化を推進、道路や公園は100%完了。土岐川観察館を自然学習の場としており、子どもから大人まで年代別での環境学習講座「エコカレッジ」を開いている。等々が報告された。

◆飯田市佐藤市長 「ゼロカーボンシティ宣言」をし、大学とも連携し思えば第九回中部環境先進五市サミットin新城で小山は「四谷の千枚田保全活動」と題してに基調講演という重責を担った思いが過ぎた。

精な計らい

海老財産区

け、それぞれの活動報告(各自一分)、有意義な意見交換が行われた。

市内鳳来西、海老、連谷小の三校は平成二十八年に閉校。体育館と運動場は市内の団体のみに解放され区域住民にグラウンドゴルフを呼び掛け、草刈りや花壇の整備を行つていて。旧連谷小は公民館を柱に地元に芝刈り機(連谷:手動、海老:乗用)が供給されれた。林公民館館長は「これで、きれいなグラウンドが保てる」と喜んでいる。



アフリカ地域 稲作振興のための中核的農学研究者の育成



毎年、名古屋大学 江原教授の依頼で JICA アフリカ稻作現地研修を行っている。今年の研修者はアフリカ八か国（ブルンジ、カメルーン、マダガスカル、モザンビーク、ナイジエリア、セネガル、スーザン、ジンバブエ）で、それぞれが農業・農村開発省 農業技術学校副校長と、国立穀物研究所 米プログラム研究室主任研究官とか土地・農業水・気候・農村再定住省 稲作学者など、そうそうたる肩書きで、アフリカ諸国を代表した農学研究者でもある。研修目的は美味しい米作りの手法を学びたい一心で、連発する質問からも伺われた。①肥料 ②品種 ③農薬 ④国・県・市からの支援及び助成金は：⑤腰は痛くならない。

農学研究者の代表からは「一言一言が大変参考になつた。国に帰り、取得した技術を糧に普及に努める。」
アフル案山子
七月十三日、今年も新しい案山子がやつてきた。毎年この時期に案山子成者は設楽町津具のチーム TAKO で欽ちゃん香取慎吾の仮装大賞筋に入りだ。
今年は「大賞」を受賞、

案山子動着転さなが一かりまた山と物を守ることが古く、それをすいじるものも姿があった。そのも姿をうして、いふんじたと云われる。今どきの山子男とは、地力を外な見れば、

農学研究者の代表からは「一言一言が大変参考になつた。国に帰り、取得した技術を糧に普及に努める。」
アフル案山子
七月十三日、今年も新しい案山子がやつてきた。毎年この時期に案山子成者は設楽町津具のチーム TAKO で欽ちゃん香取慎吾の仮装大賞筋に入りだ。
今年は「大賞」を受賞、

見か 沢子動着転さなが一かりまた山と物を守ることが古く、それをすいじるものも姿があった。そのも姿をうして、いふんじたと云われる。今どきの山子男とは、地力を外な見れば、



今年は、昭和の風景を再現。両手でウナギを捕まえたり、釣った魚を焼いたり、沢で魚釣りをする四体。レトロでリアルな案山子は訪れる人々に癒しや愛嬌を振りまいている。この、案山子設置については四谷の千枚田の保存継承にご尽力頂く（株）丸八製菓「八雲だんご」の心の籠つた贈り物である。

行 発
文 責
小 山
舜 二
令和六年七月十五日
鞍掛山麓千枚田保存会

デマンドバス

豊鉄バス 四谷千枚田新城線休止に伴い海老、四谷、連合地区において、デマンドバスの実証運行が行われている。利用日の前日までの予約に基づいて運行するバスで地区内の移動、地域外の指定乗車場所（静岡県立病院）への移動にも利用できる。利用日には田口新城市線に乗り換える必要がある。デマンドバスとは、決まった時刻の予約に応じて、区域の中を走るバスで、バスが安全に運行できる道であれば、自宅近くまで行くことができる。細い道も通れるよう車両は五人乗りの普通乗用車で、予約状況によつては他の乗客と相乗りになることもある。このデマンドバスに乗り、四谷、連合区域内の移動が可能になった。例えば前日に予約（海老構造改善センター内）しておいて自宅のある我が家からこのバスに乗りますで、バスが安全に運行できる道であれば、自宅近くまで行くことができる。細い道も通れるよう車両は五人乗りの普通乗用車で、予約状況によつては他の乗客と相乗りになることもある。このデマンドバスに乗り、四谷、連合区域内の移動が可能になった。例えば前日に予約（海老構造改善センター内）しておいて自宅のある我が家からこのバスに乗りますで、バスが安全に運行できる道であれば、自宅近くまで行き、帰りも同時に予約しておけば、自宅まで帰ることができる。この実証運行は令和五年十月二日から令和六年九月三十日まででその後、十月一日からは他の S バスの運賃と同じ一乗車二百円となる。地域内の年寄りには有難い制度で、川壳の梅の里や千枚田散策、須山の観音様参りも大いに楽しめる。